

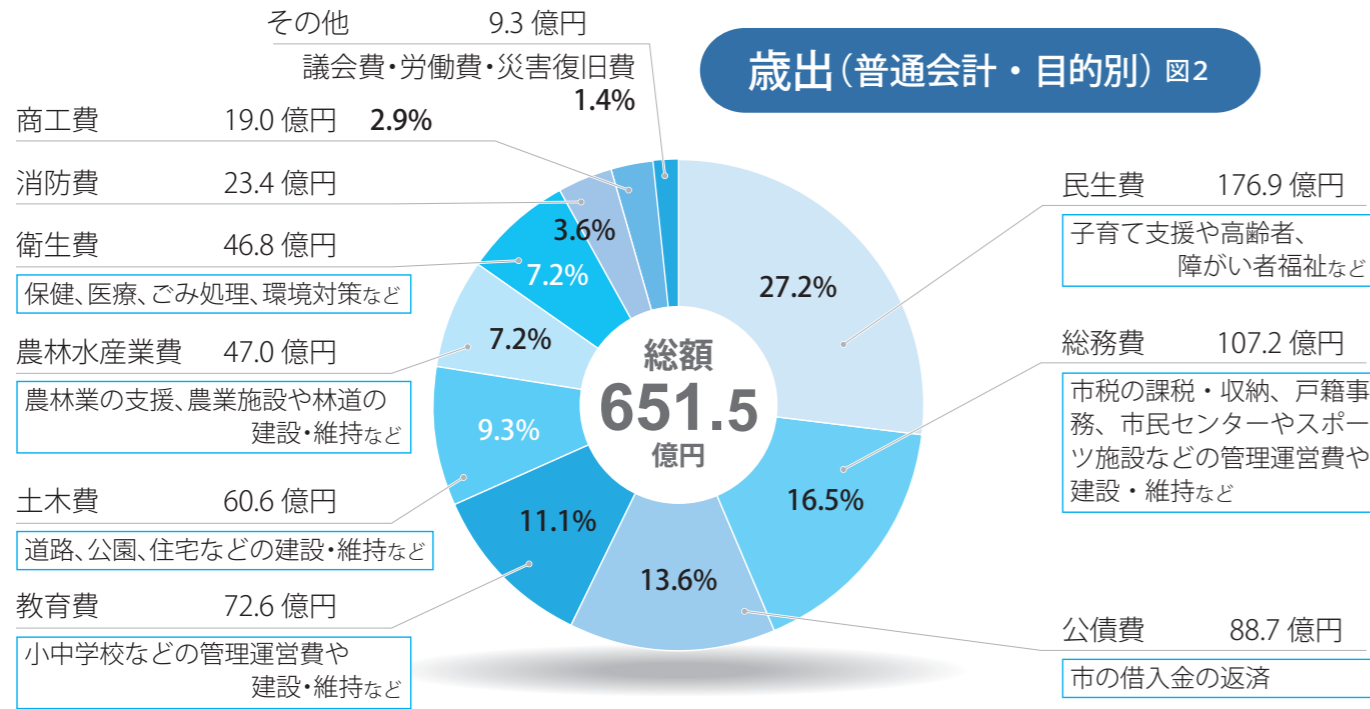
決算

28年度
市の財政状況

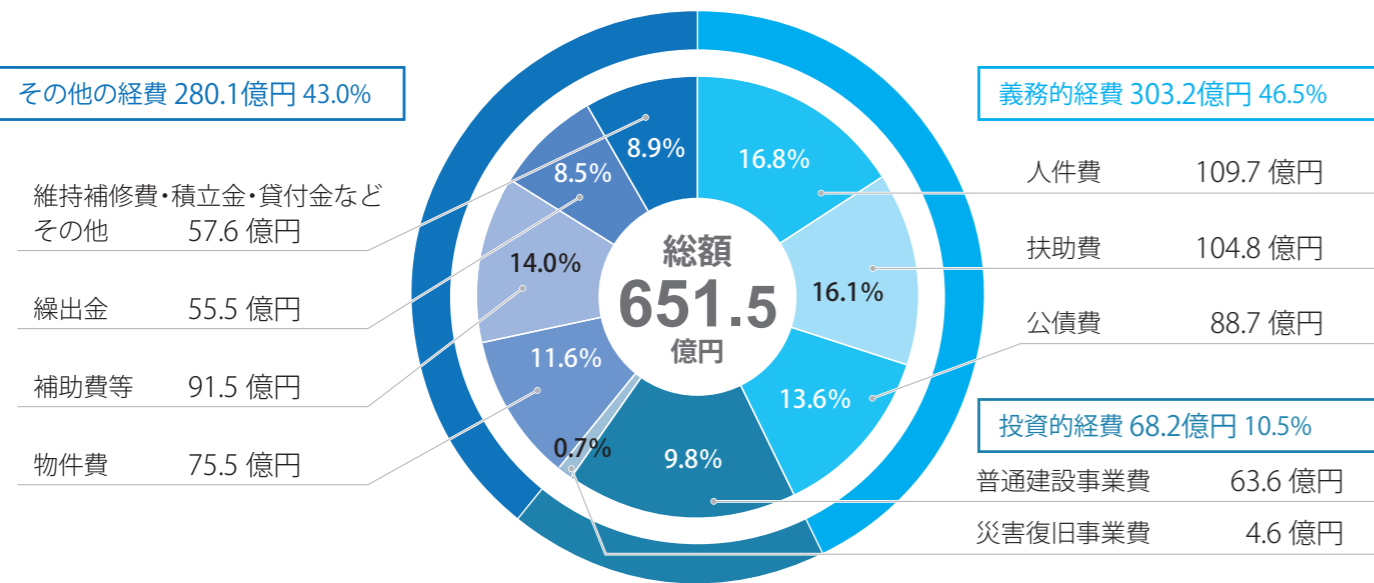
28年度決算の概要と、総務省が実施する「地方財政状況調査」による普通会計の決算の状況をお知らせします。「地方財政状況調査」は他の市町村と比較できるように、共通の基準で調整したものです。

財政課
8233

歳出(普通会計・目的別) 図2



歳出(普通会計・性質別) 図3



28年度の歳入と歳出

「予算」は1年間に入ってくるお金(歳入)と使うお金(歳出)の見積りもりのことで、予算案は市議会が審議、決定します。

これに対して「決算」は、1年間に入ってきたお金と支払ったお金をまとめたものです。

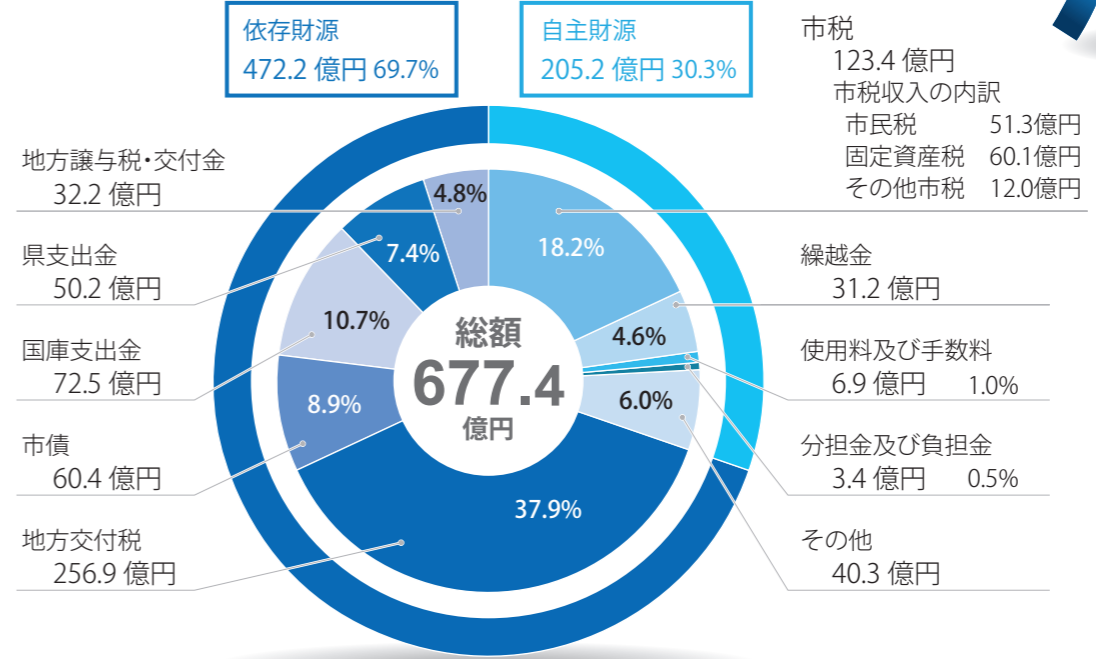
歳入(図1)には、市税や使用料のほか、特定の事業に対して国や県から交付される「国・県支出金」、市町村ごとの格差を調整するために交付される「地方交付税」があります。

市税や使用料など、市が独自に収入できるものを「自主財源」、国や県の制度によって収入できるものを「依存財源」といい、安定した財政運営のためには、自主財源の確保が必要不可欠です。

また、歳出には「目的別」(図2)と「性質別」(図3)という分類があり、「目的別」は、経費の目的に着目して分類したもので、子育て支援や生活保護(民生費)、道路や公園の整備(土木費)などに分類しています。

「性質別」は、経費の性質に応じて分類したもので、財政運営の健全性や弾力性の分析に適します。

歳入(普通会計) 図1



28年度会計別の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
● 一般会計	676億3,364万円	650億5,060万円	25億8,304万円
● 国民健康保険(事業勘定)	148億4,037万円	145億4,568万円	2億9,469万円
● 国民健康保険(直診勘定)	4億8,637万円	4億8,600万円	37万円
● 後期高齢者医療	12億2,105万円	12億1,947万円	158万円
● 介護サービス事業	4,102万円	4,102万円	0
● 都市施設等管理	1億2,329万円	1億2,329万円	0
● 工業団地整備事業	1,260万円	1,260万円	0
● 市営バス事業	1億8,389万円	1億8,389万円	0
● 簡易水道事業	24億9,360万円	24億6,131万円	3,229万円
● 下水道事業	36億4,145万円	36億3,495万円	650万円
● 農業集落排水事業	4億3,881万円	4億3,879万円	2万円
● 浄化槽事業	1億1,656万円	1億1,648万円	8万円
● 物品調達	2,772万円	2,717万円	55万円
合計	912億6,037万円	883億4,125万円	29億1,912万円

普通会計とは、一般会計に都市施設等管理特別会計、工業団地整備事業特別会計、市営バス事業特別会計、物品調達特別会計を合わせたものから、一般会計と各特別会計間の歳入歳出の重複分を相殺したものをいいます。注金額は1万円未満の数を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。